湖西市職住近接・未来ビジョンアドバイザリーボード　資料

湖西市の将来ビジョン

～持続可能な発展のために～

2021年10月　　静岡県湖西市長　影山　剛士（こさい）

V1.45

湖西市は令和4年1月1日に市制50周年を迎えます！

【自己紹介】

■氏名：影山 剛士（かげやま たけし）

■出身：静岡県 湖西市

■略歴：1974年（昭和49年）湖西病院生まれ。鷲津幼・小・中学校卒業

1993年　浜松北高校卒業

1998年　早稲田大学 法学部 卒業

1998年　大蔵省 入省

2002年　金融庁 監督局 金融危機対応室 預金保険係長

2007年　外務省 在上海 日本国総領事館 領事

2011年　内閣府 行政刷新会議 事務局 参事官補佐

2015年　財務省主計局 予算執行企画室 総括課長補佐

2016年　財務省退官

2016年　湖西市長 就任（現在に至る）

Kosai

ようこそ！　静岡県湖西市へ！

静岡県の最西端

面積86.56km^2

（浜名湖面積含む）

湖西市ってどんなまち？　①

湖西市の歩み

・昭和30年4月1日
　５か町村（鷲津、白須賀、新所、入出、知波田）が合併、湖西町となる。
　当時の人口約26,700人

・昭和47年1月1日
　湖西町から湖西市となる。
　当時の人口約31,800人

・平成22年3月23日
　新居町と合併。
　当時の人口約62,800人
　(旧湖西市45,300人・旧新居町17,500人)

・令和4年1月1日
　市制50周年を迎える。

湖西市ってどんなまち？　②

◆人口・・・58,938人
（外国人：3,485人）

男性・・・30,205人　　女性・・・28,733人
（外国人：男性1,972人、女性1,513人）

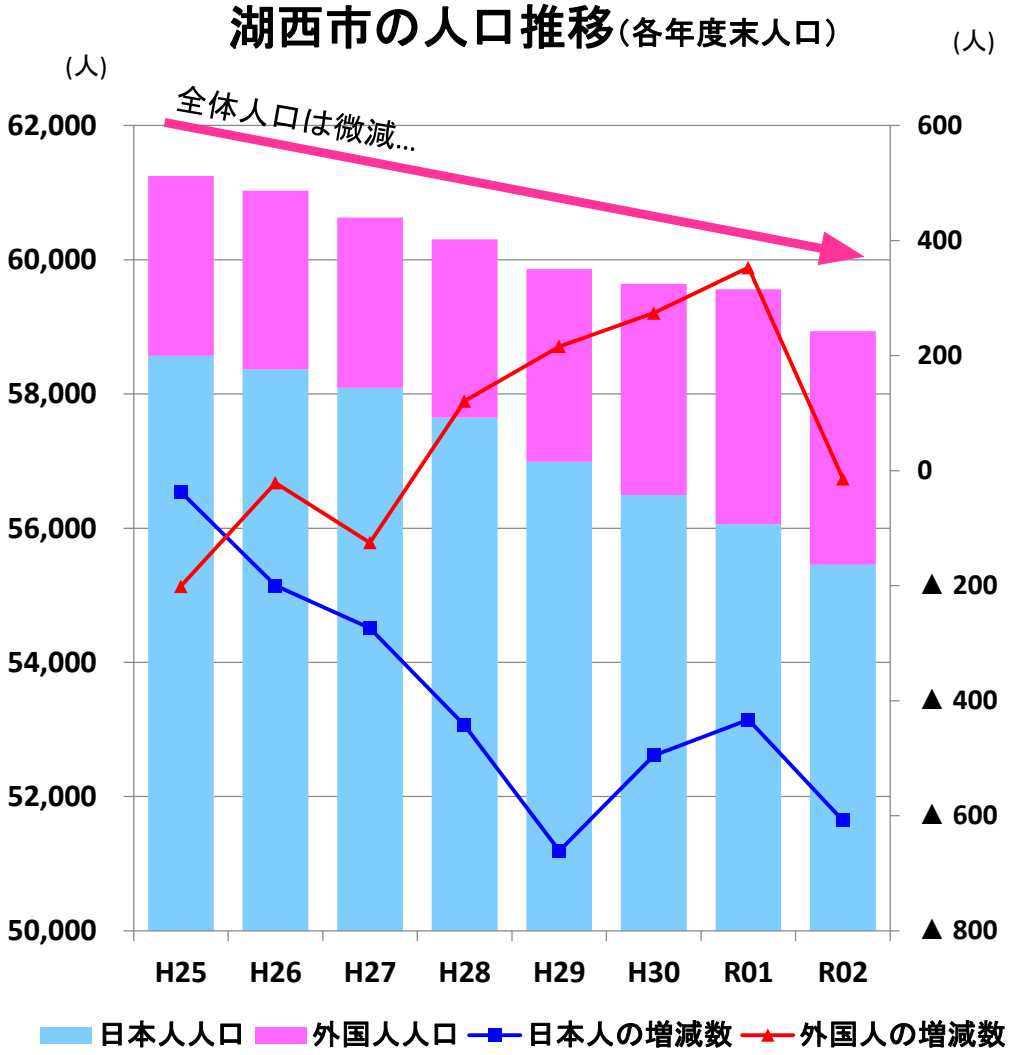
外国人比率は5.9%

（令和3年3月末時点）

昼夜間人口差が**“約７千～１万人”**！

⇒湖西市で稼ぎ、浜松・豊橋などの周辺自治体で消費・納税という実態

（参考）浜松市
人口･･･797,938人　（外国人：25,593人）



出典：湖西市住民基本台帳人口

湖西市ってどんなまち？　③

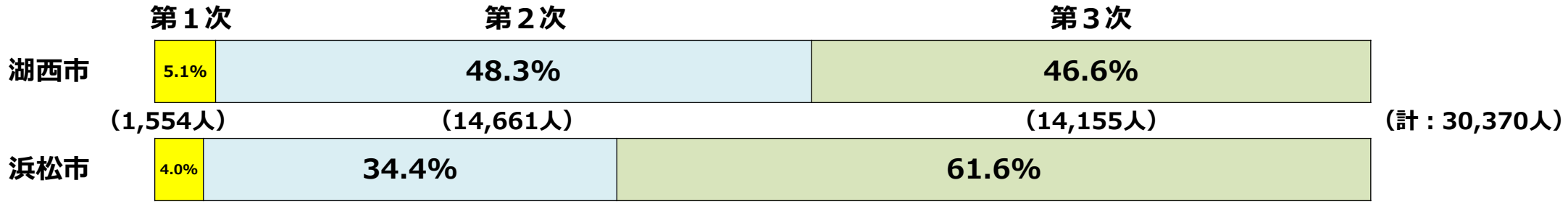
浜松市との比較

	湖西市	浜松市	比　較
面積（㎢）	86.56（県内19位）	**1,558.06（県内1位）**	約18倍
人口（人）	58,938（県内15位）	**797,938（県内1位）**	約13倍
農家数（戸）	891（県内18位）	**10,042（県内1位）**	約11倍
工業事業所数（件）	186（県内13位）	**1,839（県内1位）**	約10倍
製造品出荷額等	1兆6,713億円（県内3位）	**1兆9,656億円（県内２位）**	約1.2倍
1事業所当たり出荷額	**89億8,500万円（県内1位）**	10億6,800万円（県内19位）	約8.5倍

R3.4.1住基人口、2020年農林業センサス、2020年工業統計調査より

宮崎県の製造品出荷額等とほぼ同額!!

産業別就業人口比率



H27国勢調査より

湖西市と浜松市・豊橋市・田原市との比較

	湖西市	浜松市	豊橋市	田原市
面積	86.56 ㎢	1,558.06 ㎢	261.86㎢	191.12 ㎢
人口	58,938人	797,938人	373,833 人	60,609人
農家数	891 戸	10,042戸	4,221戸	3,527 戸
工業事業所数	186 件	1,834 件	715件	67 件
製造品出荷額等	1兆6,713億円	1兆9,656億円	1兆3,900億円	1兆7,628億円
1事業所当たりの出荷額	89億8,500万円	10億6,800万円	19億4,400万円	263億1,000万円

宮崎県の製造品出荷額等とほぼ同額!!

【参考:近隣都市の製造品出荷額等】

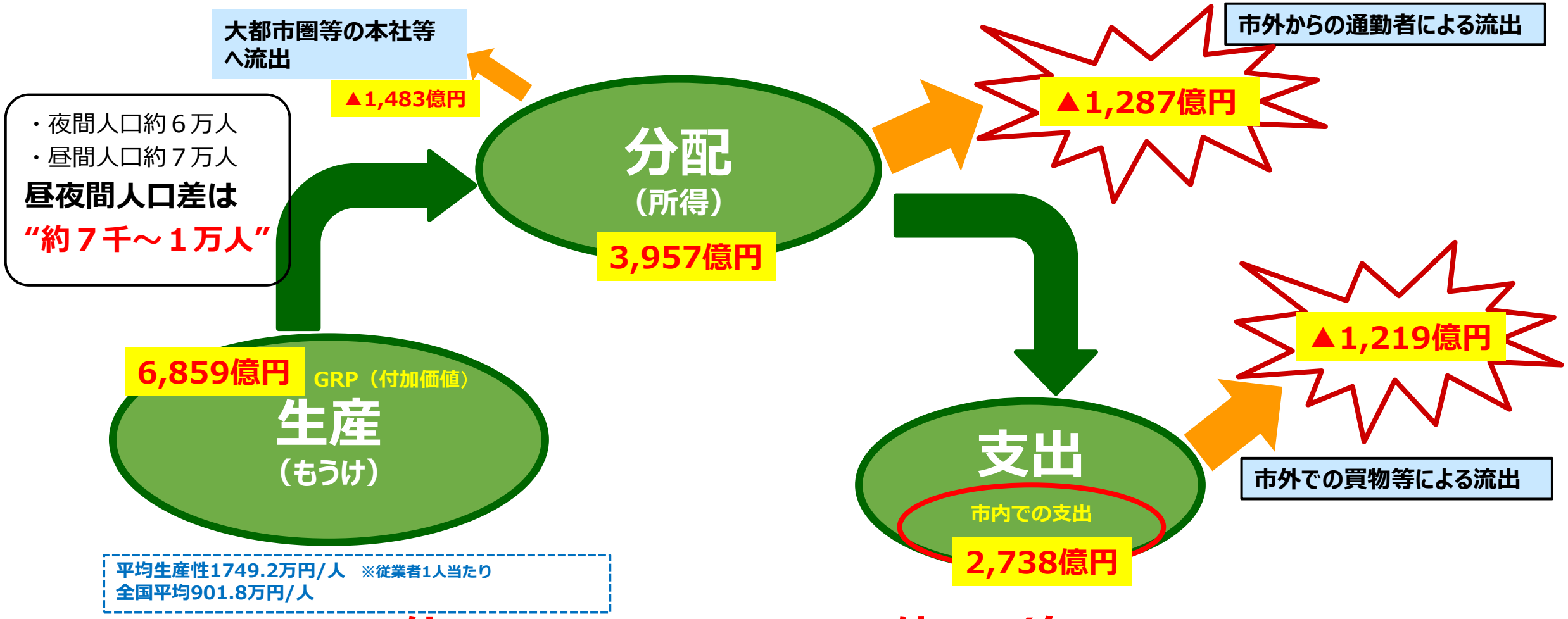
名古屋市：　3兆2,968億円
豊 田 市 ：15兆1,716億円

R3.4.1住基人口、2020年農林業センサス、2020年工業統計調査より

湖西市ってどんなまち？　④

湖西市内のお金の流れ

地域の稼ぐ力は強いが、市外への所得流出が大きい構造である。



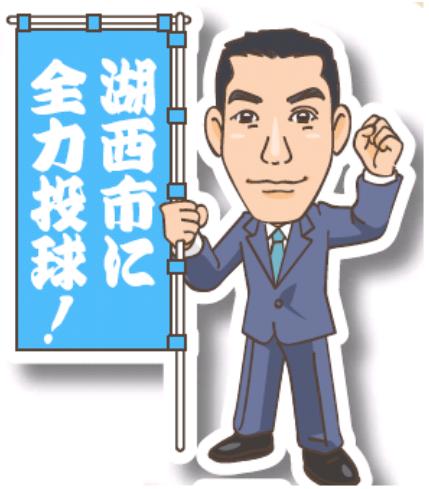
平均生産性1749.2万円/人　※従業者1人当たり
全国平均901.8万円/人

（19位／1,719市町村）

▲4,121億円／年

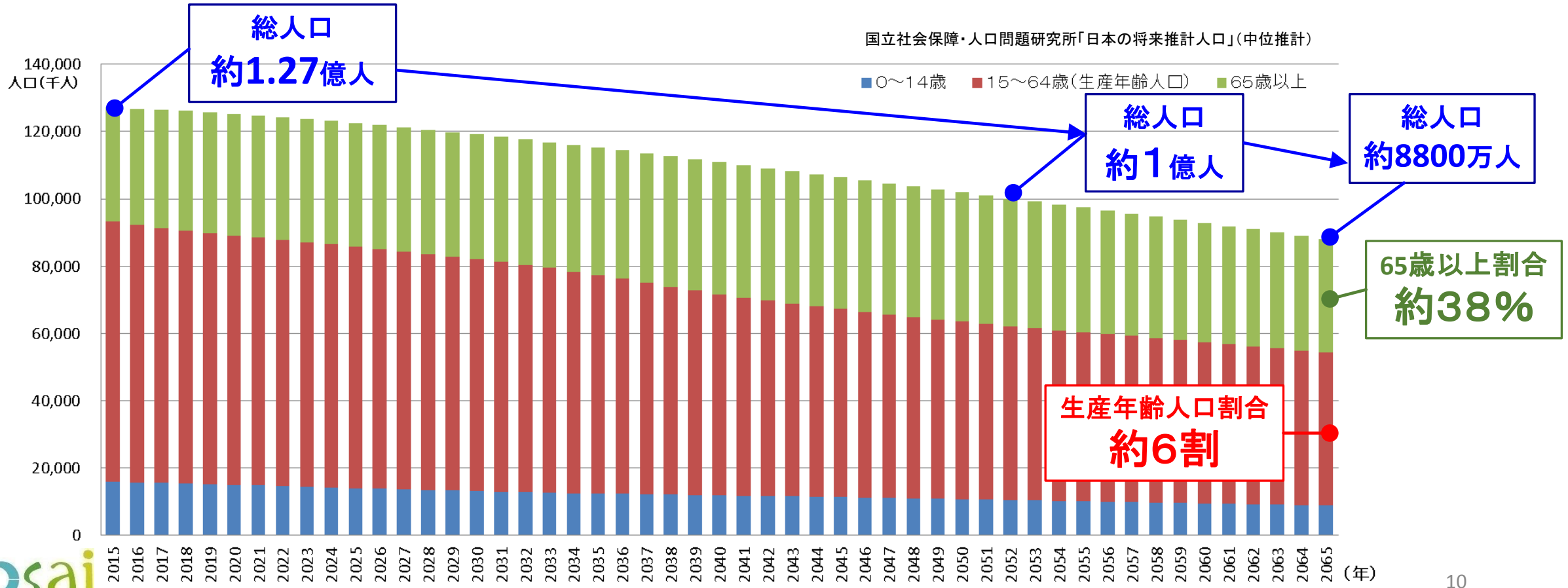
【出典】環境省「地域経済循環分析」

持続可能な
まちづくりに向けて

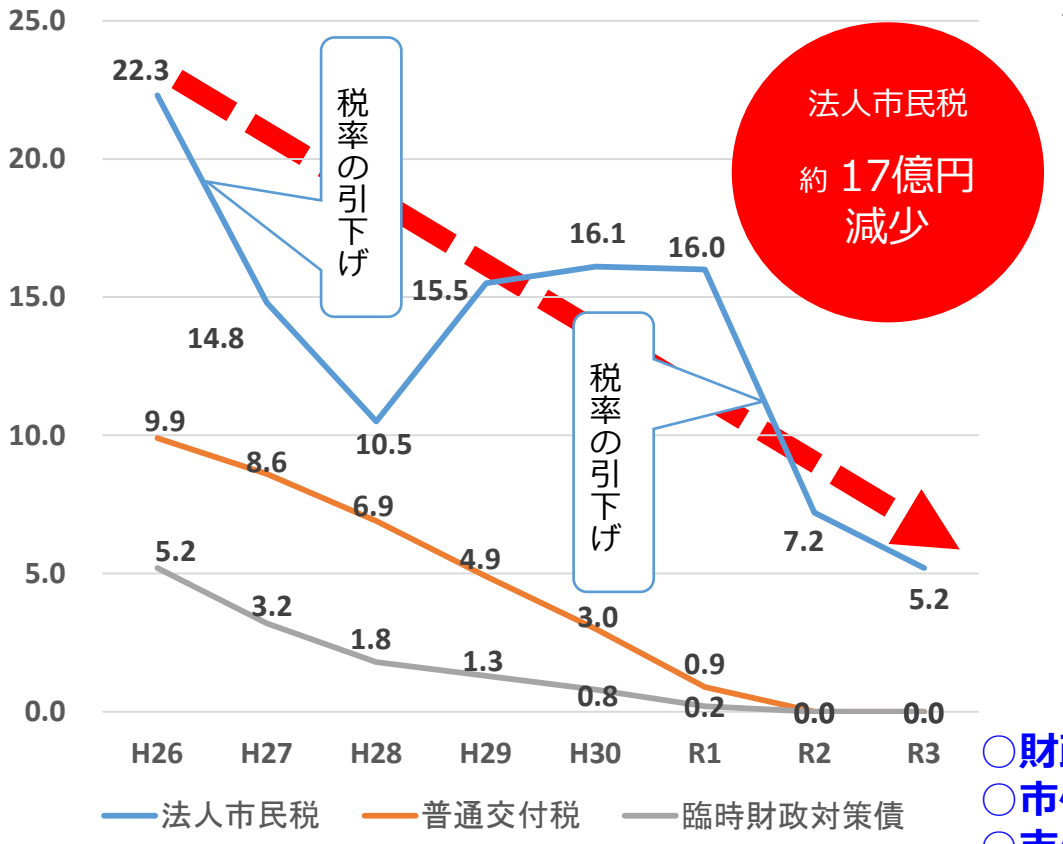


人口減少・少子高齢化の推移・予測

◎今後人口減少が進み、2052年（令和34年）には1億人を切る見通し
◎少子高齢化が急速に進行、2065（令和47）年には総人口の38%が65歳以上となる見通し。
◎生産年齢人口は2065年には現在の6割近くまで減少。



厳しい財政状況



「法人市民税」は税率の引下げに加え、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から大幅な減収が見込まれる。

「普通交付税」「臨時財政対策債」は合併による特例期間が令和元年度に終了し、令和2年度からは不交付となっている。

■法人市民税法人税割　税率推移

事業年度	税率
H26.9.30まで	12.3%
H26.10.1から	9.7%
R01.10.1から	6.0%

⇒その結果

- 法人市民税
  ⇒　約17億円減少
- 普通交付税
  ⇒　約10億円減少
- 臨時財政対策債
  ⇒　約5億円減少

令和３年度には平成26年度基準で比較すると

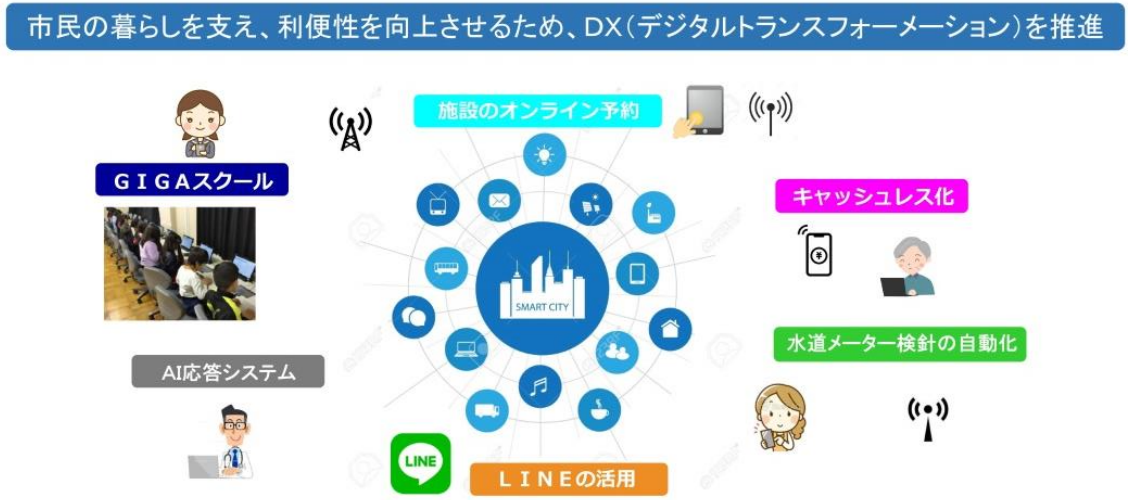
約１３%の歳入減になる

限られた財源を有効活用し、財政基盤を固める

○財政調整基金取崩額（当初）　R02年度　7.1億円→R03年度 12.0億円
○市債発行額（繰越分除く）　R02年度 19.8億円→R03年度 10.5億円
○市債残高　R02年度　174億円→R03年度　173億円
※一人当たりの市債残高　約29万円

令和3年度　湖西市一般会計当初予算

令和３年度予算キーワード
「職住近接」
『働くまち』から
『働いて暮らすまち』へ



持続可能な発展を目指し、人口減少対策として、昼夜間人口差の解消、及び移住・定住の促進を重点的に行う。

■デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
■モノづくり人材の育成と産業の発展
■空き店舗などを活用した創業の支援

などの新たな取組を開始

「職住近接」に向けて４つの重点事業

① 子育て・教育の充実

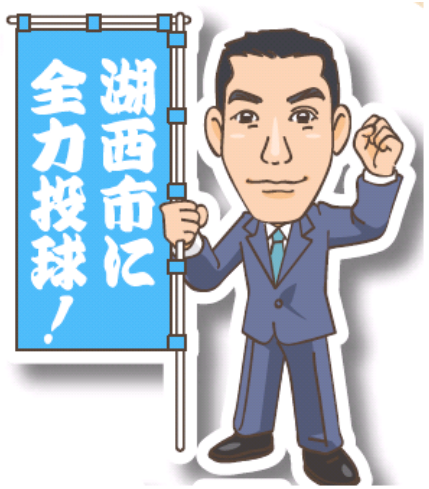
② 産業振興

③ 観光・シティプロモーション

④ 安心安全・医療福祉

Kosai

①　子育て・教育の充実



子育て･教育の充実　①-1

こども医療費の無料化、保育の受皿の拡充！

～平成29年3月
　小学校1年生～中学校3年生　→　１回500円（月4回）

平成30年10月～
　高校生までの医療費無料化

平成31年４月～
　小規模保育事業所（きりつ保育園）開園

令和２年４月～
　新居幼稚園の「こども園」化
　幼保連携型認定こども園（真愛三ツ谷こども園）開園

令和2年10月～
　小規模保育事業所（吉美風の子保育園）開園

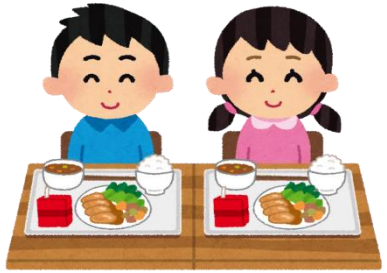
令和3年４月～
　岡崎幼稚園の「こども園」化

令和４年４月～
　保育所（希望の杜保育園、ヒーローズこさい保育園）開園予定　※名称は両園とも仮称

子育て･教育の充実　①-2

給食センター化への取組み

○給食施設の老朽化、少子化の進行…
○食育の推進、アレルギー対策…
○地産地消の推進…



学校給食のあり方について
『学校給食施設の基本計画』を策定中
給食センター化を視野に検討

未来の子どもたちに
安心・安全な給食の提供

○学校給食試食会の様子
湖西市畜産衛生対策協議会から市内小中学校に
贈呈されたポークウインナーを試食

Kosai

子育て･教育の充実　①-3

産婦人科の誘致に向けて

湖西病院では、平成19年から産婦人科医がおらず、
また市内にも産婦人科医がいない状態が続いている。

○産婦人科を開業する医師・医療法人への補助
（最大1億円）
○加えて、市有地の無償貸付けも開始

少子化・人口流出の歯止めに！

湖西市に
産婦人科医院を開設しませんか？

New!
開設のための優遇制度を拡大します!!

【市有地の斡旋･無償貸付】
市有地を10年間（予定）無償貸付することもできます。

～補助制度も継続しています～
産婦人科医院を開設するための施設及び設備整備に要する経費の2分の1の額で、上限1億円（県の補助金を含む）とし、複数年度で交付します。

詳細については、お問い合わせください。

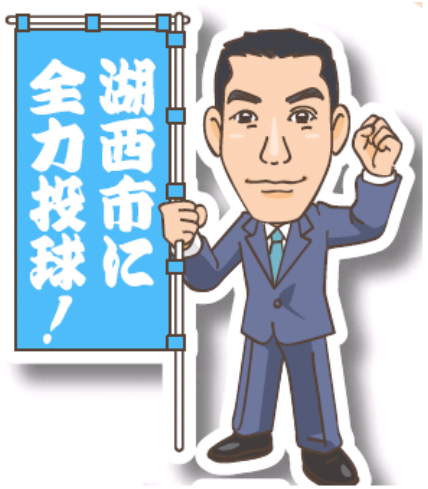
静岡県湖西市役所健康増進課
〒431-0492　湖西市吉美3268番地
TEL　053-576-4794
E-mail　kenkou@city.kosai.lg.jp
URL　http://www.city.kosai.shizuoka.jp/

平成29年７月　横浜
平成31年４月　名古屋

産婦人科関連の学会で
湖西市への
産婦人科誘致をＰＲ

Kosai

② 産業振興



産業振興　②-1

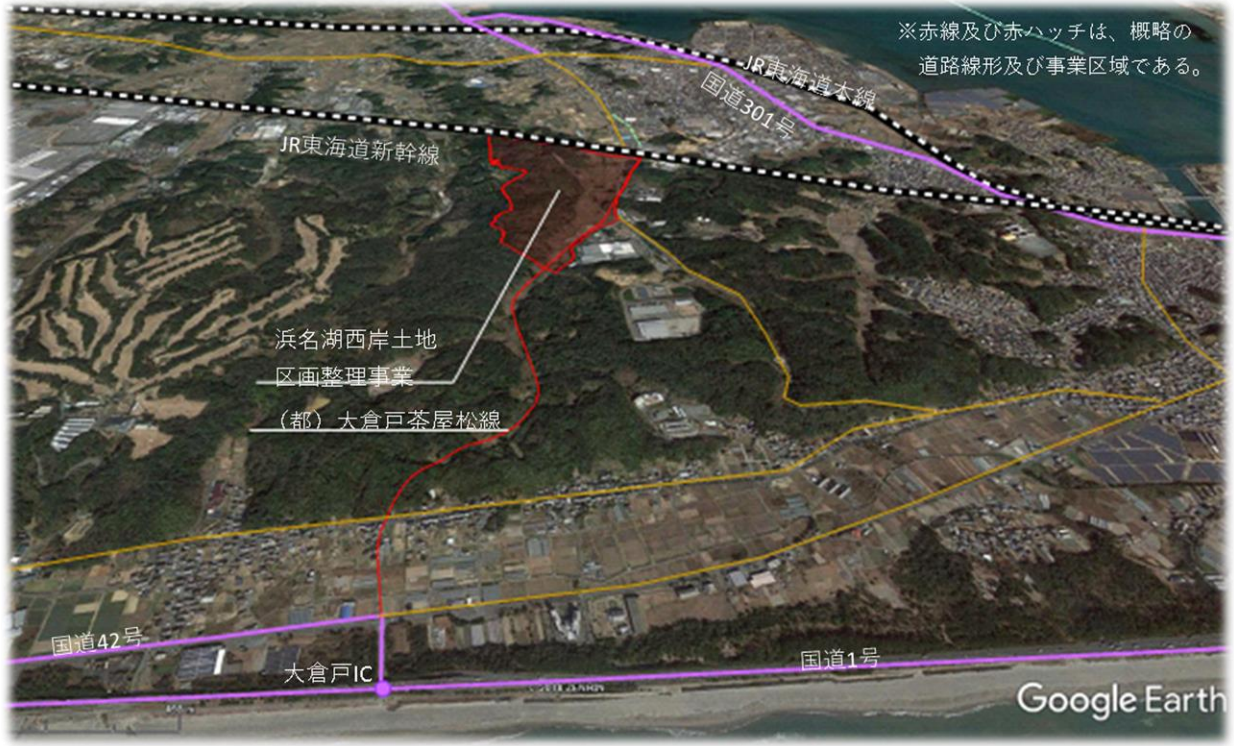
工業用地を沿岸部から移設したい

働く場所の創出はまちづくりの根幹

新しく高台に工場用地が欲しい

そんなニーズに応えるため

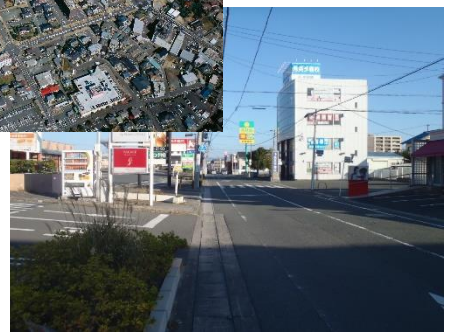
浜名湖西岸土地区画整理事業



沿岸部に立地する企業の高台移転ニーズや新規に高台部へ工業用地を求めている企業のニーズに応え、標高30m以上の浜名湖西岸地区に新たな工業団地を造成する土地区画整理事業。造成規模は約50ha。
それに加え、市民の利便性の向上を図るため、都市計画道路「大倉戸茶屋松線」の整備を行う。

産業振興　②-2

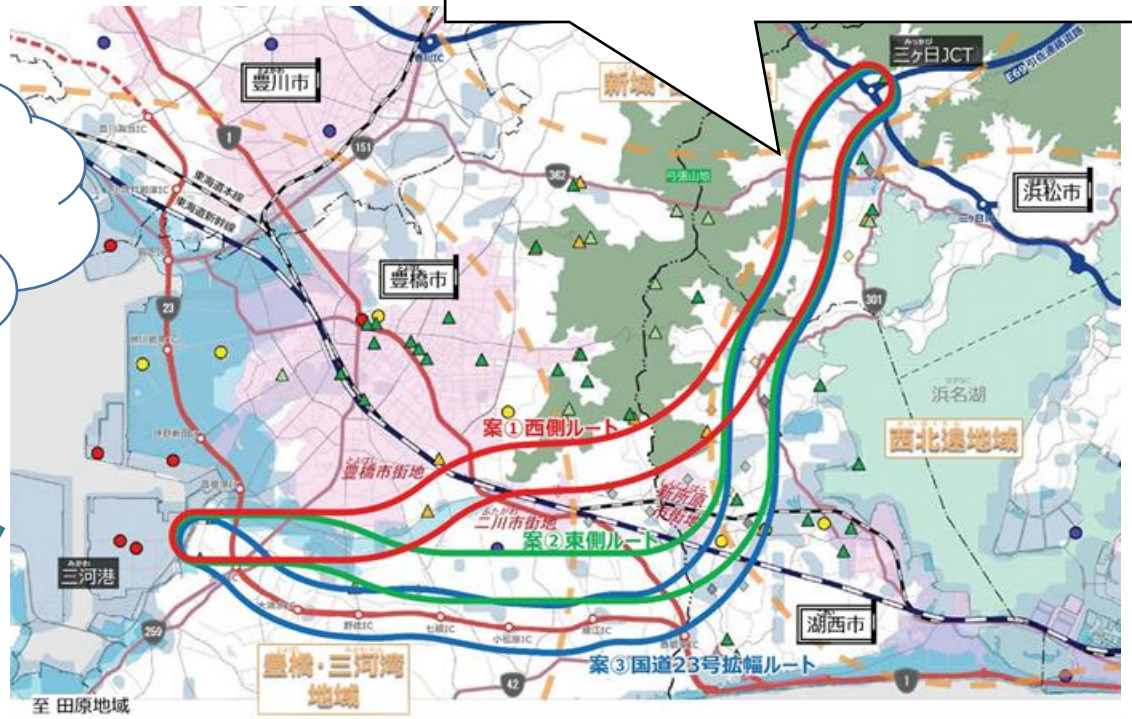
主要道路網の整備



湖西市内では、産業振興のほか、
通学路等、子どもたちの安心安全
につながる道路整備に優先的に着手

ゆくゆくは・・・

浜松三ヶ日・豊橋道路　(仮称)



湖西市の道路網だけでなく、「浜松三ヶ日・豊橋道路」を始めとした広域的な整備の実現。あわせて、住宅・商業施設の整備も重要。

（現行）「浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）」第２回
中部地方小委員会（2020年6月24日開催）で

３つのルート案概要が示された

産業振興　②-3

立地適正化計画の策定に向けて

都市計画法や都市再生特別措置法等に基づき、
都市計画行政を推進。
令和２年度末に**「立地適正化計画」**を策定。

令和元年9月
立地適正化推進協議会を設置

いつまでも暮らしやすいまちづくり

土地利用の在り方を検討していきます！

- ◆ 居住の誘導による人口密度の維持
- ◆ 都市機能の適正な誘導
  （医療、福祉、商業などの機能）

Kosai

産業振興　②-4

“職住近接”に向けた臭気対策への取組

豚の飼養頭数２万6千頭　県内第１位 ⇒ 反面「臭いが気になる」との声

◎･･･湖西市の取組、●･･･静岡県の取組

【平成17年度～】
◎**市単独助成金で畜産業を支援**（令和3年度湖西市予算：**330万円**）
　⇒畜舎密閉化、消臭液(デオマジック等)、消臭飼料等の導入
【平成30年度】
◎**市全職員による臭気モニター**
●**湖西市内畜舎周辺の臭気調査などの現地モデル事業**
●**静岡県研究施設での無臭化実験豚舎の設計**
【令和元年度】
◎**市民臭気モニターを試行的にスタート**
} 県補正予算で実施
●**新規事業として養豚業者限定の助成金開始**（令和3年度静岡県予算：**500万円**）
　⇒畜舎などへの脱臭フィルター、脱臭シートの設置
【令和2年度】
◎**市民臭気モニターを本格的にスタート**
◎**静岡県との連携強化**⇒脱臭フィルター、脱臭シートの設置促進のため、市単独助成金制度を拡充し、県の助成金と合わせて設置費用の5/6を助成
【令和3年度】
◎**臭気対策プロジェクトチーム発足**
◎**市内全ての養豚業者で臭気と作業の関係を調査し、対策に繋げる。**

密閉型豚舎

⇒ **快適な環境で定住を促進！**

Kosai

産業振興　②-5

令和6年2月　環境センター焼却施設再稼働に向けて

○　**安心・安全な廃棄物の処理**やサービスの拡充
○　環境への負荷や**運営コストの削減**

経済性に優れた改良工事による再開

○　発電機の設置や白煙防止装置の廃止による省エネ化
○　汚泥焼却による処理の効率化、水銀規制への対応
○　長期包括委託による運営費用の抑制と平準化

新設よりも有利!!

下水道整備区域の見直し、浄化槽処理促進区域の指定

○　効率的な**生活排水対策の推進**

令和２年度から（方針）

市内全域
公共下水道
による整備を推進

市街化区域
公共下水道
による整備

市街化調整区域
合併処理浄化槽
の設置推進

＋

加えて…
浄化槽汚泥等の収集業の安定・効率化を図る計画を策定！

※平成13年3月から供用開始

③　観光・シティプロモーション

観光・シティプロモーション　③-1

新居関跡保存整備事業

現存する日本で唯一の関所を観光拠点として整備。

ハード整備事業

・大御門の復元
・女改之長屋（おんなあらためのながや）の整備

ソフト整備事業

・VR(仮想現実）で江戸時代の関所を体験

withコロナの取組

・課外活動や修学旅行先としてオリジナル手形の作成などの体験型学習プランを提案

オンリーワンの文化資源を活かし…

湖西に人を呼び込む！

Kosai

観光・シティプロモーション　③-2

新居弁天観光地域利活用事業

・浜名湖など魅力ある観光資源
・県内有数の観光施設

近年では・・・
・観光客や観光事業者の減少
・観光施設の老朽化

新居弁天観光地域の活性化に向け、
“訪れる地域づくり”と同時に
“地域住民に愛される観光地域づくり”を目指す!!

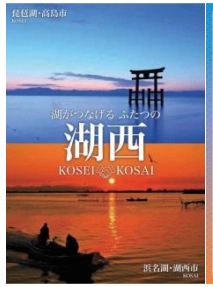
【R3年度予定】
- ■ サウンディング型市場調査の実施
- ■ 地元住民等との協議
- ■ プロポーザル方式による事業者選定

民間企業の力を取り入れ、
年間を通じて人が訪れ、賑わいが生まれるエリアへ

「こせい」×「こさい」に係る連携

湖の西側のまちという**共通点**を生かした
琵琶湖湖西地区高島市との**相互プロモーション！**

関係人口の拡大・お互いの知名度アップ
両市連携による相乗効果を期待！



- ■ コンセプトポスターの作成
- ■ 「こせい」×「こさい」パンフレットの作成

今後も、両市で行うイベントへの相互出展などを予定

浜松・浜名湖ＤＭＯとの連携

地域の観光資源を活かし**再来型・滞在型**観光を推進

DMOの枠組の中でPR・誘客の相乗効果を図る
- ■ 旅行商品販売
- ■ サイクリング「ハマイチ」推進

ヘミングウェイカップの開催

〇キューバと県・近隣市が連携
〇釣りを含めたマリンスポーツの理解を深める

観光・シティプロモーション　③-3

市民交流複合施設に向けて

平成30年6月から12月まで、市民による
「市民会議」を開催。
市民相互の話し合いにより具体化を進める。

〇2028年（令和10年）までに鷲津幼・小・中学校付近にとの提言をいただいた

〇平成31年3月、提言に基づいたロードマップ策定

〇令和元年5月から10月まで、市内関係団体等との意見交換を実施

令和3年3月から4月まで、市民・各種団体による
「意見交換会」を開催。
コロナ禍における減収等により計画見直しなどの意見交換実施。

意見交換会報告書を受け、
持続可能な市民サービスと行政運営のため
①「複合施設の供用開始時期の延期」
②「新居地域センター改修、
市役所庁舎・防災センター建替え」
方針を決定

観光・シティプロモーション　③-4

将来を担う若い世代の意見を抽出

①中学校３年生を対象とした アンケート調査

・市内の中学校３年生を対象
・将来湖西に住みたいか、働きたいか、など素直な意見を聞いてみたところ・・・

「このまちが**好き**だけど、
将来住んでいるとは思えない」

・考えるべき問題が浮き彫りに
・**定住促進、人口流出の歯止め**が必要

②Kosai Saiko Labo の開催

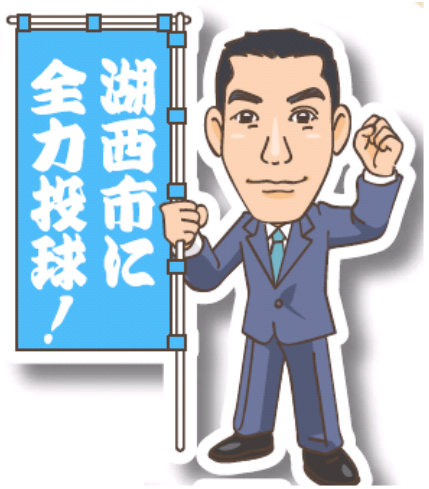
・平成29年度から継続して開催中。
・市内在住、在勤の20～30歳代でメンバーを構成
・**若者らしい柔軟な発想**により、湖西市の**魅力を発信**！

・平成31年２月
湖西市PRビデオを制作・公表中（外部団体・企業でも利用が可能！）

・今後も定住につながるような市のプロモーションなどの課題について取り組んでいく。

Kosai

④　安心安全・医療福祉

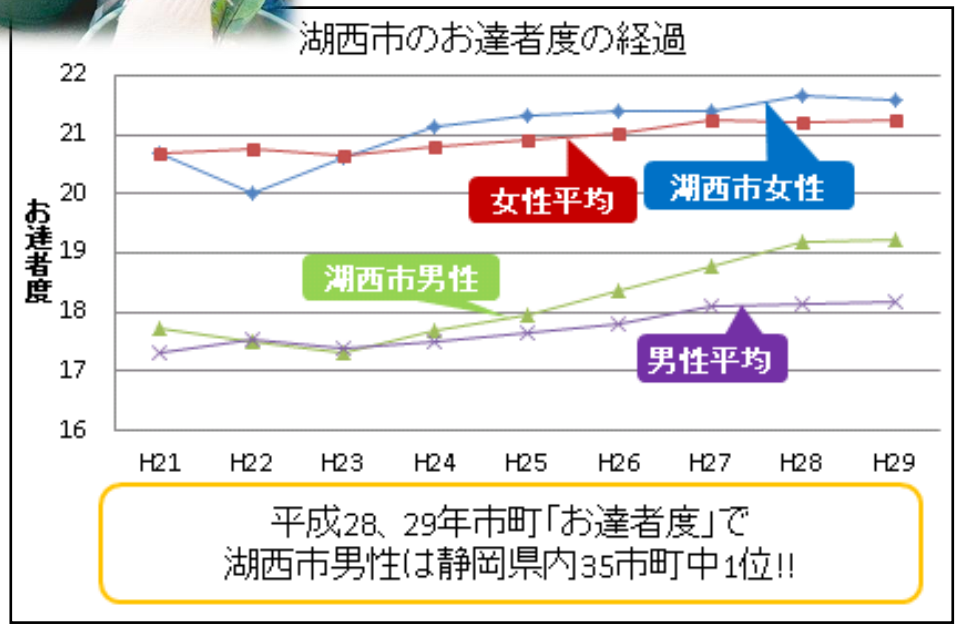


安心安全・医療福祉　④-1

福祉サービス充実

高齢者がいつまでも健康で快適な生活を送るための様々な教室を開催。

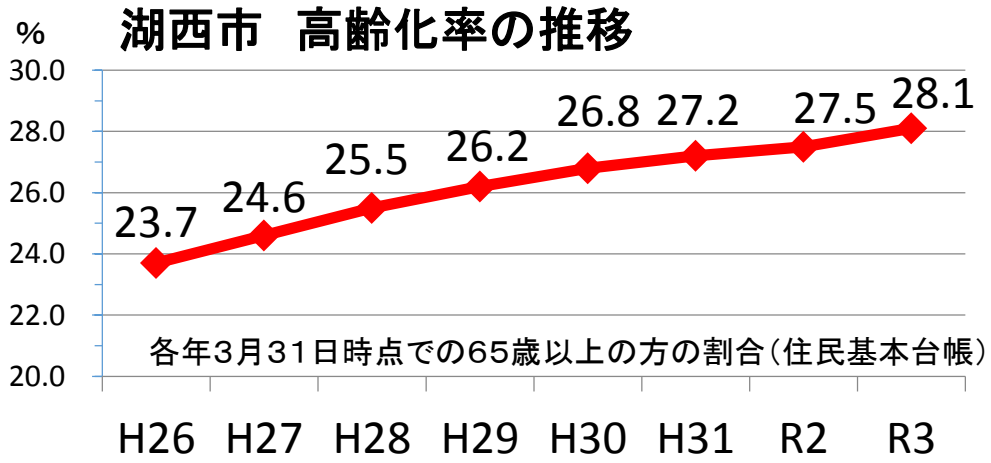
自立した生活を送れるようにすることにより、高齢者自らが持つ能力を活性化し、元気なうちから介護予防を目指す。



安心安全・医療福祉　④-2

高齢者が安心してやさしく住めるまちづくり

増えつつある高齢者の割合



湖西市の65歳以上人口

16,552人　（令和3年3月末時点）

福祉サービス　　地域公共交通サービス

両面から高齢者をバックアップ

- ◆地域公共交通サービスの充実
  コーちゃんバスからデマンド型タクシーへ
- ◆高齢者へのバス・タクシー利用料金助成
  75歳以上を対象に年間2000円相当を助成
- ◆次世代運行サービスの研究
  民間と連携した効率向上・課題解決への取組

安心安全・医療福祉　④-3

地域公共交通サービス

高齢者の地域公共交通サービスの確保は、湖西市において重要かつ早急に取り組まなければならない問題

交通手段がない ＞ 外出の機会が減る ＞ 自立した生活力低下

コミュニティバス
（コーちゃんバス）

サービスのデマンド化
（コミュニティバスからデマンド型タクシーへ）

<デマンド交通>

乗り合いタクシーサービスのこと。

平成30年3月に白須賀地区で実証実験を開始。
知波田地区、新居地区でも実証実験を行い、
令和4年4月から市内全域に拡大予定。（一部地域を除く）

「ドアツードア」方式を採用。

<メリット>

①行きたいところから、行きたいところまで、

②時間に合わせた運行のため時間が正確　　③低コスト

ゆくゆくは･･･ **コミュニティバスの代替手段としての活用を目指す**

Kosai

安心安全・医療福祉　④-4

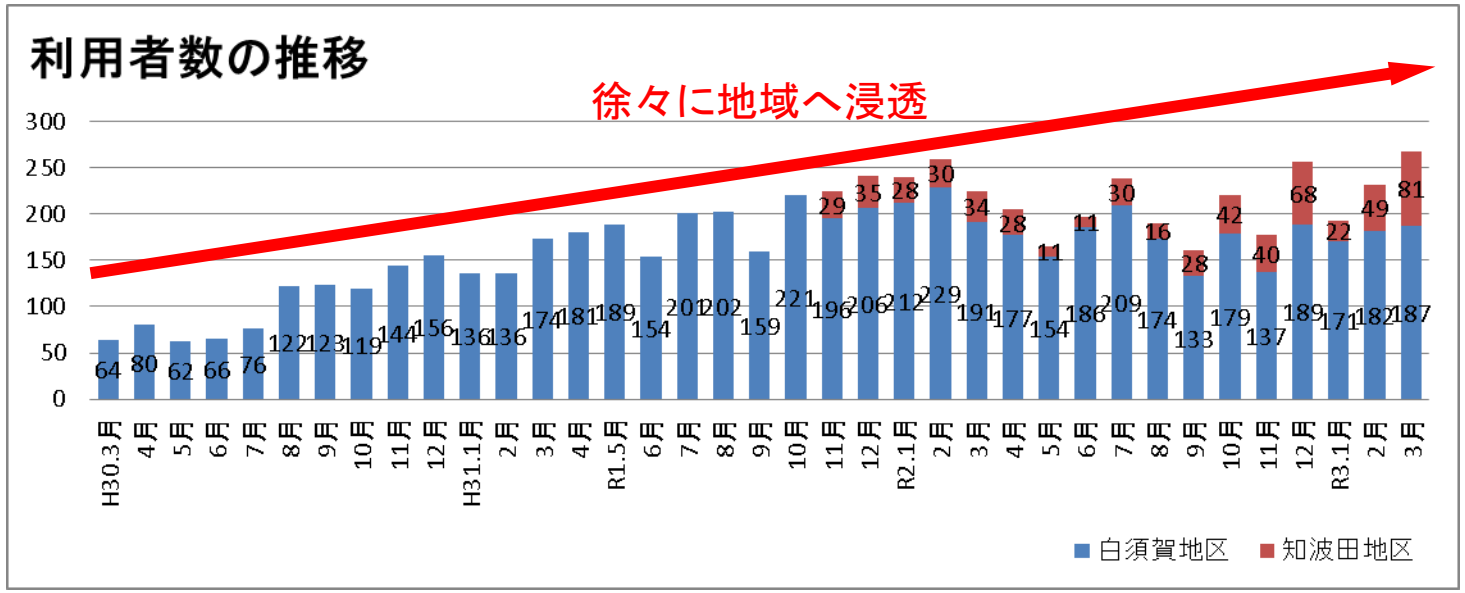
デマンド型乗り合いタクシー運行実績

令和2年度末までの実績

登録世帯数	551世帯／3，042世帯（対象地区内全世帯数）	18．1%
登録者数	1，069人　／7，742人　（対象地区内全人数）	13．8%

利用者数

6，459人



安心安全・医療福祉　④-5

高齢者へのバス・タクシー利用助成

■高齢者バス等利用料金助成事業（対象：75歳以上）
→タクシー利用にも拡大（平成30年度から）

★令和元年度の利用率＝44.3%（R1年度 51.1%）

助成券交付実績（単位：人）	
年度	交付者数
H29	2,404
H30	3,665
R1	3,959
R2	4,082

助成券利用実績（単位：枚）				
年度	デマンド型	タクシー	バス	合計
H29			30,232	30,232
H30	215	16,829	19,322	36,366
R1	441	21,737	18,322	40,500
R2	925	21,412	13,794	36,131

※総利用枚数は平成30年度と同等。

タクシーの利用総数は61.8%と全体の半数以上を占める。

安心安全・医療福祉　④-6

次世代運行サービスによる支援

■**次世代の運行サービス**について研究
■民間企業と連携した**利便性の高い公共交通**の提供

連携内容

モネ・テクノロジーズ社との連携協定締結

◆予約配車アプリの導入
スマホアプリを使った予約配車システムを導入し効率性をアップ！

◆**企業シャトルバスとの連携**
市内企業のシャトルバスを地域住民も利用できるよう研究していきます！

◆移動＋αの価値の提供
移動車内において、買物や簡易な医療行為など、利用者のニーズに合わせたサービスを組み合わせていきます！

市内の移動効率性を向上！
移動に関わる諸問題の解決

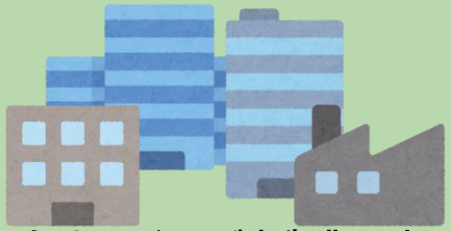
高齢者の移動手段を支援

安心安全・医療福祉　④-7

湖西市企業シャトルBaaS事業

【地方公共団体：湖西市　民間事業者等代表：湖西市企業シャトルBaaS研究会】

湖西市企業シャトルBaaS研究会



市内の主要製造業10社

静岡県 湖西市

MONET TECHNOLOGIES INC.

湖西市企業シャトルBaaS（湖西版MaaS）

- 湖西市の身近な移動課題を企業シャトルバスで解決
- 自動運転社会を見据えたデータ収集及びデマンドシステム

自動車会社

自動運転の社会実装のための実証実験

超高齢化社会における移動課題の解決手段を確保する

安心安全・医療福祉　④-8

障がい者への支援

■障がい者へのコーちゃんバス運賃割引制度
■障がい者タクシー料金助成
■**精神障がいにより入院中の精神障がい者、又は保護者に対して入院初日からの医療費を助成**

＜その他の取組＞

運転免許証自主返納者に対して

コミュニティバス２年間無料乗車券

を交付しています。

年度	交付者数	利用枚数
H29	209人	4，495枚
H30	209人	9，695枚
R1	144人	6，821枚
R2	130人	3，621枚

安心安全・医療福祉　④-9

湖西病院の経営改革に向けて

湖西病院事業説明会を開催し
市民の意見を活かしていきます！

①湖西病院事業管理者公募

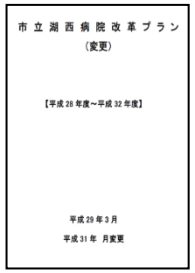
平成29年12月1日から病院事業管理者を新たに設置。病院長の兼務状態を解消。経営のスペシャリストによる改革を目指す。

②湖西病院経営診断

(公財)全国自治体病院協議会による現状確認及び「平成28年病院経営分析調査報告」等を基に、類似病院との比較及び分析を行いながら、今後の市立湖西病院の在り方等についてまとめられた。

③改革プランの改訂

平成31年2月に湖西病院改革プランを改訂。検討委員会の提言を受け、健全な病院運営に向けた地域包括ケア病床の開設や収支計画の変更を盛り込んだ。


市立湖西病院改革プラン
（変更）

【平成28年度～平成32年度】

平成29年3月
平成31年　月変更

④地域包括ケア病床の創設

一般病床での治療後に、退院までの準備が整うまでの間、軽度な治療・介護ケア・リハビリ等が受けられる「地域包括ケア病床」を令和元年６月に創設。
また、令和元年9月から「地域連携外来」を開設。

◆ 地域包括ケア病床

病状安定後、引き続き入院し、看護ケアやリハビリを実施。

◆ 地域連携外来

病院と市内診療所の連携を強化。地域での患者の回復期の入院療養・治療の受入れをスムーズに！

地域包括ケア病床

安心して退院できるよう支援

一般病床 → 通常退院 → 自宅・居宅系施設等

Kosai

安心安全・医療福祉　④-10

津波シミュレーション

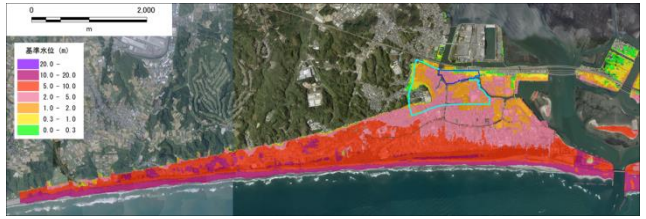
湖西市立地適正化計画策定の検討資料として津波シミュレーションを実施

○浸水シミュレーション

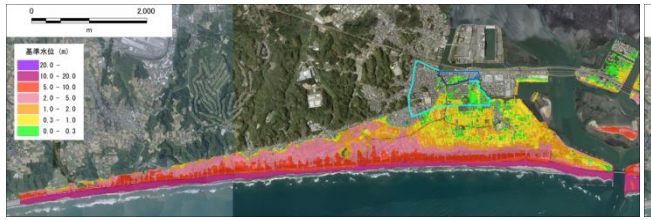
静岡県第4次地震被害想定の津波被害シミュレーションを基に、嵩上げや防潮堤の整備を行った場合の減災効果について計算

沿岸地域すべての安全・安心のため、分析結果や近隣市町、地域住民の意見などを参考に、防潮堤整備の方針を検討

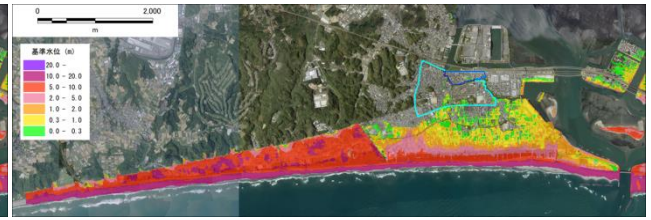
【シミュレーション例】



津波シミュレーションによる基準水位分布（現況）



最も減災効果が高いケース
（市沿岸全体防潮堤嵩上げ15m）



最も津波対策工の費用を抑えたケース
（市東側防潮堤嵩上げ15m・二線堤15m）

津波対策①：命山の整備

■住吉地区に命山を整備
- 避難高さ　海抜9.3m
- 収容人数　1,071人

■上田町特定利用斜面保全事業を利用した命山事業を推進
（令和3年度完成予定）

住吉地区命山（愛称「おたすけ山」）

⇒①急斜面の解消、②命山の整備、③残土の活用、④平時の公園としての活用、の一石四鳥

安心安全・医療福祉　④-１１

津波対策②：津波避難タワーの建設

■津波浸水区域への対策として、新居弁天地区、日ヶ崎地区に「津波避難タワー」を建設

■令和２年度から高師山地区でも津波避難タワーの建設に着手（令和3年秋完成予定）

⇒津波避難施設空白域が解消！

日ヶ崎地区津波避難タワー

津波対策③：自分で作る避難経路

自分で街を歩いてみて、避難経路を自分で考える「自助」の意識を高める

「津波避難経路表示シート」

・路面に貼り付けてある高台や津波避難施設への誘導を示す

・市内に93か所設置

・大きさ：縦70cm×横50cm

「ハザードマーカー」

・地面に埋め込み、その場所の津波浸水想定を表示

・市内に210か所設置

・大きさ：直径11.6cm　陶器製

安心安全・医療福祉　④-12

新型コロナウイルス感染症対策を反映した避難所運営

避難所運営で必要な資機材の整備及び訓練の実施。

「ダンボール製ベッド」

・パーテーションと組み合わせることで、新型コロナウイルス感染症対策に非常に有効。

（R3年度購入予定）

「ダンボール製パーテーション」

・密接を回避しプライバシーを保護するために750個を備蓄。

（R2年度）

安心安全・医療福祉　④-13

豊橋市との水道料金収納業務等の共同化（シェアードサービス）

県境を越えた広域連携

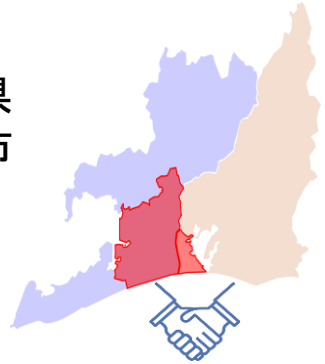
豊橋市

・検針業務
・受付収納業務　等

⇒包括業務委託

受託事業者

愛知県
豊橋市



静岡県
湖西市

湖西市

・検針業務
・受付収納業務　等

⇒直営

＜2021年2月8日＞
湖西市と豊橋市が協定を締結。
豊橋市が委託している事業者と湖西市が新たに包括業務委託を行う。

豊橋市

包括業務委託
（委託済）

受託事業者

協定締結

湖西市

包括業務委託
（新規）

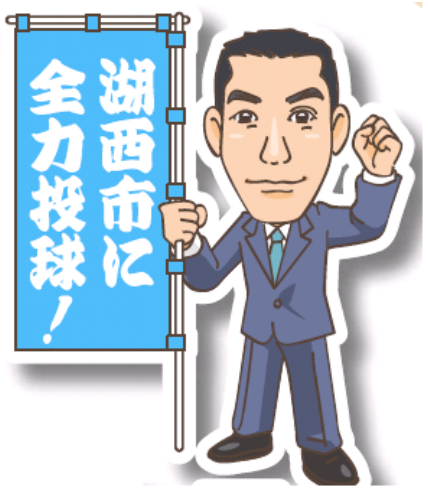
シェアードサービスイメージ

【料金収納業務】

受付・収納業務	債権管理業務
検針業務	中高層共同住宅水道特別取扱業務
電子計算処理業務	メーター管理業務

Kosai

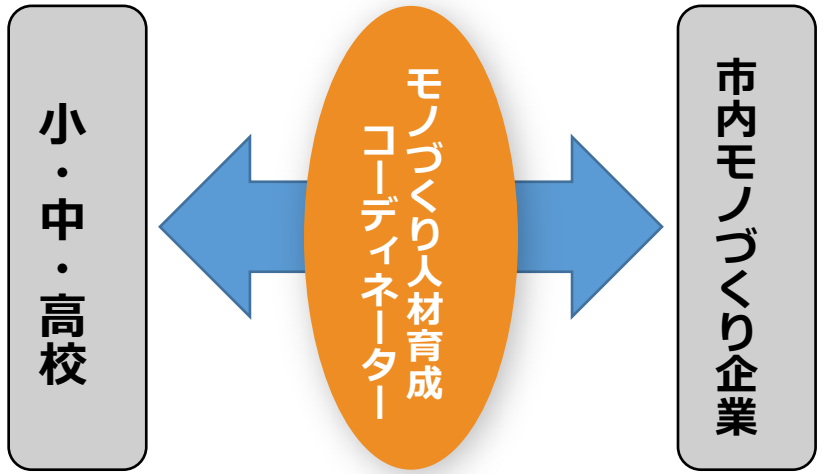
湖西市の持続的発展
に向けた新たな取組

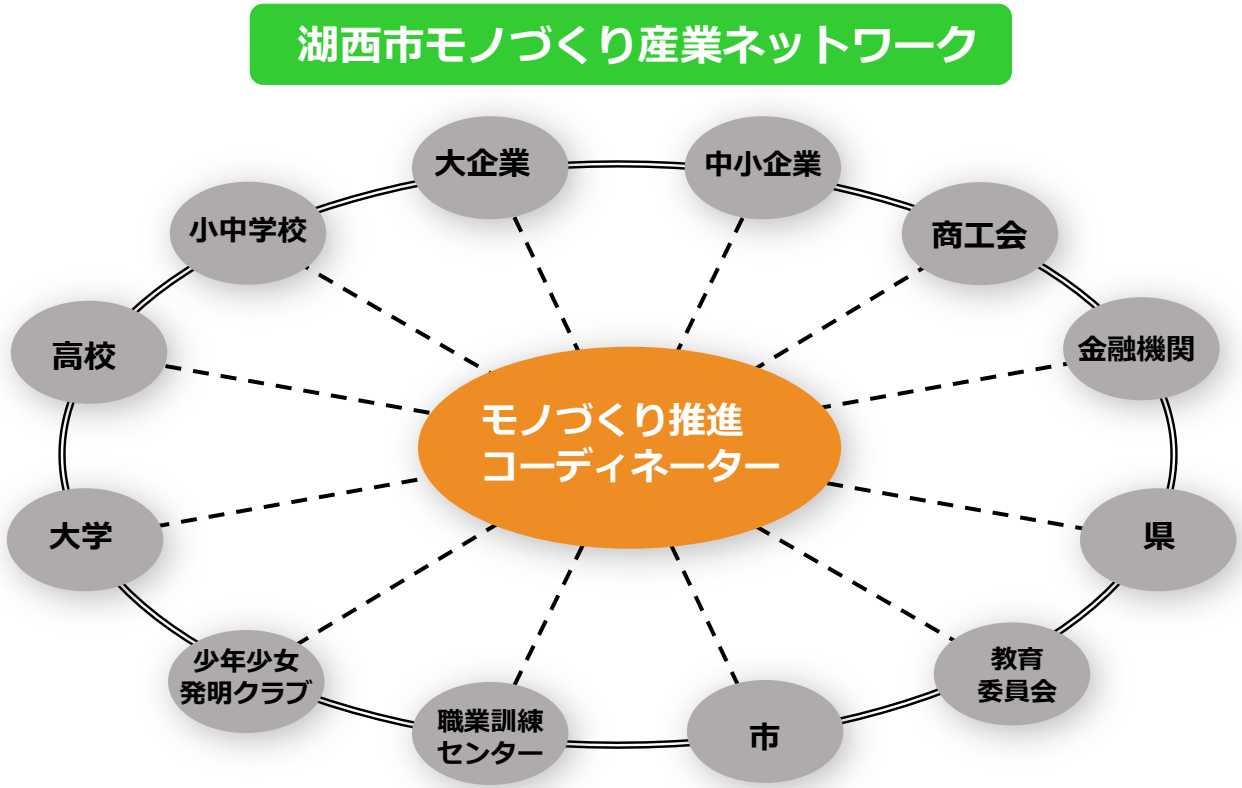


①モノづくり人材の育成　～職住近接の取組を充実～

Ｒ２年10月から、地元企業の見学や出前授業の調整を行う**コーディネーターを配置**

Ｒ３年度から、**モノづくり人材の育成**や**中小企業の支援**を一体的に進める**ネットワークを構築**





モノづくり産業の持続的発展のため、未来を担うモノづくり人材を育成

（ex. 工場見学、職業体験、出前授業等を体系的に行う仕組の構築）

②カーボンニュートラル（脱炭素）の推進

現状と課題

日本

○令和２年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言

○2030年半ばまでに乗用車新車販売で電動車100%を実現

⇒ ＥＶの場合、部品数がガソリン車の3万点から2万点に減少

世界

○100以上の国が「2050年カーボンニュートラル」を宣言

○ＥＵは、資源の採掘から生産、走行、廃棄に至るまでの全体でCO_2排出量を評価する規制ＬＣＡの導入を検討

⇒ 企業は脱炭素に対応できないと、取引先から除外される恐れ

○自動車産業を中心にモノづくり産業を柱としている湖西市にとって、カーボンニュートラルへの対応は喫緊の課題

⇒ 脱炭素は地域が企業に選ばれるための大きな要素

湖西市版ゼロカーボンシティの構築

○環境と産業の持続可能な未来を実現するため、ゼロカーボンシティを宣言

＜今後の取組例＞

- 中小企業等に対する再生可能エネルギー導入に対する支援
- 公用車のエコカー導入促進
- エネルギーの地産地消による地域内資源循環型社会の構築
- 徹底した省エネルギーの推進　等

③土地利活用の一体的推進

①「浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）」整備への対応

○ＩＣのアクセス道路の整備とあわせて、ＩＣ周辺の再開発により物流・工業・商業・観光等の多様な産業を呼び込む

→ ○市全体の発展に寄与するＩＣ周辺の土地利活用に関する基本方針（グランドデザイン）を策定する

②工業・商業用地の確保

○市内外の事業者から土地取得の要望があるが、市内に活用可能な広い土地がない

○土地取得等に関する要望や相談に迅速に対応できていない

→ ○県企業局による工業用地の造成等により、工業用地等の確保に努め、中長期的な戦略を策定する

○土地取得等に関する市の窓口を一元化する

③住宅用地の確保

○昼夜間人口の差が約７千人～１万人

○「職住近接」を実現するためには、未利用地等を活用するなど市内に多くの宅地を整備する必要がある

→ ○民間の宅地開発を促進するため新たな奨励金を新設（令和3年9月補正予算成立後開始予定）

↓

「職住近接」に向け、これらの土地の利活用を一体的に推進するための体制を構築する

④デジタル・スマートシティの実現（DXの推進）

市民の暮らしを支え、利便性を向上させるため、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進

ＧＩＧＡスクール

・児童生徒**１人１台のタブレット端末**を活用し、**ＩＣＴ教育**を推進

施設のオンライン予約

・体育館や運動場等の利用をスマホやパソコンから**オンラインで予約可能**に

キャッシュレス化

・**公共料金・税金の支払い**等にスマホを利用した**キャッシュレス決済**を導入

企業シャトルＢａａＳ

・市内を運行する**企業シャトルバス**を**配車システム**を活用し**市民が移動手段**として利用

ＬＩＮＥの活用

・欲しい情報を**ＬＩＮＥ**で手軽に受け取り

水道メーター検針の自動化

・**水道スマートメーター**で使用料を自動検針

・漏水状況を自動感知し、漏水警告等を**スマホへお知らせ**

取組の拡充

（例）〇交通事故防止、道路管理、災害対策、シティプロモーション等におけるデジタル技術の活用

〇スマート農業、医療・福祉分野におけるオンライン診療・相談、オープンデータ等の推進

Kosai

～ Fin ～

ご清聴ありがとうございました。

湖西市マスコットキャラクター
「コーちゃん」

作成者：湖西市企画部企画政策課
連絡先：kikaku@city.kosai.lg.jp

Kosai